

# 愛知県ハンガリー友好協会会報

2012年7月号

## 《 大成功におわったハンガリーフェスティバル 》

早稲田みか(大阪大学教授)



6月2日(土)、名古屋国際センターホールにおいて、恒例の「ハンガリーフェスティバル in 愛知」が開催されました。これまでは開催日が日曜日でしたが、はじめての土曜日開催にくわえて、お天気もよいとは言えませんでした。心配をよそに、たいへん多くの方(およそ270人)にお越しいただきました。



総合司会：早稲田先生



今年のテーマは「チェロ演奏とハンガリー人によるトークショー」。寺西学愛知県ハンガリー友好協会会長、ハンガリー大使館のファービアン・エミリア商務部長のあいさつに始まり、まずは新井康之さんのチェロ演奏(ピアノ伴奏富永里実さん)による「ハンガリーの調べ」を楽しみました。



ファービアン・エミリア商務部長と寺西会長



リストやコダーイなどハンガリーの作曲家の曲が演奏され、みなさん、美しいチェロの音色にうっとりしていました。



新井康之さんと富永里実さん

そして今回のハイライトはなんと言っても、初の試みである、愛知県在住ハンガリー人たちによるトークショーでした。山口チーラさんの司会のもと、黒川ドーラさん、ロジュニョーイ・ヘドヴィクさん、ゾンボル・アードルさん、山口アレックスさん（チーラさんの息子さん）、マトウシュ・ロランドさんが、ハンガリーと日本の生活習慣や文化のちがいについて、



流暢な日本語でユーモアたっぷりに語ってくれ、会場はたびたび笑いの渦にまきこまれました。

MCの山口チーラさん(左)

ロジュニョーイ・ヘドヴィクさん



日本では包装が過剰だという指摘には多くの方あいづちをうっていました。マッチを発明したのはハンガリー人であること、ハンガリーにはモップにしか見えない犬がいること、イースターには男の子が女の子に水をかける習慣があることなどが、美しい映像で紹介され、ハンガリーの文化についてもたくさん学ぶことができました。



ゾンボル・アードルさん

山口アレックスさん



黒川ドーラさんとアーちゃん



マトウシュ・ロランドさんと花ちゃん

このあと、子どもたちの絵の表彰式が行われました。毎年、ハンガリーの子どもたちと犬山の子もたちが絵の交換をして交流をしています。今年も、ハンガリー西部にある町、ソンバトヘイのメシュヴァール幼稚園とヴァーツィ・ミハイ小学校の子どもたちが絵を送ってくれました。犬山の子もたちの絵は4月10日にソンバトヘイの小学校で展示されました。ソンバトヘイのハンガリー・日本友好協会から送られてきた感謝状と記念品(ブダペストの写真つき鉛筆)が犬山市長の手により子どもたちに授与されました。



犬山市長から感謝状授与



ハンガリーの子どもたちの絵は、刺繍サークルの会員によるハンガリー刺繍作品とともに会場に展示されました。



大塚さんの民族衣装



刺繍サークルの会員によるハンガリー各地のスタイルの刺繍作品



ソンバトヘイのメッシュヴァール幼稚園とヴァーツィ・ミハイ小学校の子どもたちの絵 3 5 点



最後にグヤーシュとサラミ、ハンガリーのお菓子、ハンガリーワインなどがふるまわれました。グヤーシュはマトウシュ・ロランドさんとお母様たちがつくってくれました。会場ではハンガリーの物産の販売（スズキ）、マンガリツァ豚のサラミ、ビーズのネックレスや小物の販売も行われました。

会場のあちこちから、チェロの音色がすてきだった、ハンガリー人たちのトークショーが最高だった、おもしろかった、来てよかった、という賞賛の声が聞かれました。グヤーシュも最後は中身のないスープだけになりましたが、なんとか足りました。こうして今年もハンガリーフェスティバルは大成功のうちに幕を閉じました。



グヤーシュのサービス ロランドさんと早川さん

ハンガリーアカシアはちみつ販売 スズキビジネス



サラミ&パンのサービス アレックスさんドーラさんチーラさん



とてもおいしそう！



ワインのサービス 家田さんとアンドールさん



マンガリツァ豚のサラミ、ビーズのネックレスや小物の販売  
大塚さん、大阪大学のヴィクトルさんと今井さん(右端オレンジの服)

「月刊ニック・ニュース 8月号」(名古屋国際センター)でハンガリーフェスティバルを中心に当協会の活動が紹介されました(次ページ)



# 市民の交流から顔の見える関係を ～フィリピンフェスティバル・ハンガリーフェスティバルより～

誰もが気軽に参加でき、異なる文化に触れることのできる文化交流イベント。料理や雑貨、音楽、トークなどを楽しむうち、色々なことに気づかれます。言葉や習慣はそれぞれ違って、家族への思いや助け合う気持ちなど、通じ合うところがあります。

かたやアジアのフィリピン、かたや遠くのヨーロッパ、ハンガリー。両国のフェスティバルを訪ね、開催に携わる人たちのお話を聞きました。

## ハンガリーの文化を伝えたい

### 【日本への関心が高いハンガリー】

ハンガリー人(マジャール民族)は、民族的起源をアジアに持つといわれ、文化や言語にもアジアの色彩が見られます。日本への関心も高く、1920年代には両国で相前後して友好協会が設立されています。

現在の日本ハンガリー友好協会は、1971年に改めて発足。両国民が文化交流を通じて友好・親善を深める民間の組織で、市民同士の草の根文化交流で相互理解を深めようという理念のもと、お互いの国で「ハンガリーフェスティバル」「ジャパンフェスティバル」を開催し、日ごろの交流の成果を発表しています。1997年には「愛知県ハンガリー友好協会」が設立され、ハンガリーに関心のある人たちによる文化サークルの活動や、年に1回の「ハンガリーフェスティバル」、「クリスマスパーティー」が行われています。

### 【ハンガリーフェスティバル in 愛知】 “チェロ演奏とハンガリー人によるトークショー”

6月2日、名古屋国際センターのホールで開催されたハンガリーフェスティバルでは、チェロとピアノによるハンガリーの調べを始め、愛知県で暮らすハンガリー人によるトークショーや、ハンガリーの子もたちと絵画の交換をした犬山市の小中学生への感謝状の贈呈、ハンガリー料理を楽しみながらの交流会などが催されました。

### ◆ハンガリーを知ってほしい

2004年から始まったフェスティバルですが、今回初めてハンガリー人が中心に関わり、一層充実したものとなりました。

トークショーで司会を務めたのは、愛知県ハンガリー友好協会の理事であり、名古屋国際センター「地球市民教室」の登録講師としても活躍するハンガリー出身の山口チーラさん。この地域に暮らす5名の仲間とともに、日本での生活で驚いたことやハンガリーと日本の習慣の違いなどについて意見を交わしました。国際結婚の話題では、皆さん日本の家族と良い関係を築きつつも、子育てについては「あたり前のことが違うため、文化背景の理解が必要」と、戸惑う一面も見られました。

### ◆子どもたちの交流



犬山市とハンガリーの子もたちの絵画の交換は今年で7年目。今年11月7日～ 18日、小牧市市民ギャラリーにて「ハンガリー展」の開催を予定しています。

### 【広がる市民レベルの交流】

フェスティバルを主催する愛知県ハンガリー友好協会事務局長の志村美佐子さんに話を伺いました。当協会の会員は現在約100名。普段の活動は、名古屋国際センターの会場を利用して、ハンガリー人講師によるハンガリー語入門講座と、日本人指導者によるハンガリー刺繍サークルを開催しています。2005年にはハンガリーを訪れ、南西部に位置するセーケシュフェールヴァール手芸学校の人々と交流。ブダペストでは、ハンガリー政府から、日本でのハンガリー刺繍の普及に対して表彰されたそうです。一方、ハンガリーでは日本語教育が盛んに行われていたり、書道、茶道、武道など日本の「道」と言われるものが現地で暮らす日本人によって地域に広がるなど、相互の文化交流が市民レベルで広がっています。



また、昨年3月の日本での震災直後にはハンガリーで多くの市民が立ち上がり、各地でチャリティイベントが開かれ、その義援金や支援物資が日本に届けられたほか、ハンガリー南部のホードメズーヴァーシャルヘイ市が被災地の子ども達を夏休みに招待した「絆プロジェクト」や、国家的な募金運動によって岩手県大槌町に学童保育施設「学堂」が建設されるなど、草の根交流の成果が国同士の顔の見える関係へとつながっています。

ボランティアで運営する組織のため、後継者の不安もあるようですが、長く続けていくために、これからも無理せず自然に交流を続けていきたいと話してくれました。



### ＜愛知県ハンガリー友好協会の活動＞

- ・ハンガリー語入門講座 第2・第4水曜日(午前中)
  - ・ハンガリー刺繍サークル 第3火曜日(午前中)
  - ・クリスマスパーティー 12月16日(日)
- 会場：名古屋国際センター

参考  
\*愛知県ハンガリー友好協会  
<http://src-hokudai-ac.jp/hungary/baratitarsasag/aichi.html>  
\*日本ハンガリー友好協会  
<http://www.jpnhun.org/introduction/index.html>

\* \* \*

滝さん、志村さんのお話から浮かび上がるのは、違いを理解し合うには時間のゆとりが欠かせない、ということのように思えます。文化交流のイベントは、慌ただしい日常を立ち止まってふりかえるいい機会になるのではないのでしょうか。

地球を考える  
市民の交流から顔の見える関係を  
フィリピンフェスティバル・ハンガリーフェスティバルより

## 《ソンバトヘイで犬山の子供たちの絵画展》

4月10日犬山の子供たちの絵の展示会がソンバトヘイの小学校で行われました。ハンガリーフェスティバルに展示した絵を描いてくれたソンバトヘイの生徒たちに、当協会から送った感謝状と記念品の贈呈も行われ、その様子はソンバトヘイのテレビで放映されたそうです。



感謝状とプレゼント

## 《大震災復興祈念コンサート》

三苫民雄（愛知産業大学准教授）

3月31日（土）18:00より、岡崎市図書館交流プラザ「りぶら」1階ホールで行われました。

東日本大震災復興を祈念して作曲された「日本に捧ぐ」Shinsai Lamento と「なぐさめ」Consolatio（ヴァイオリン：家田堯）を始め、「黄昏の部屋の物語」など自作曲12曲が演奏されました。

ヴェドレシュ・チャバ氏の曲にはしばしば民族音階のペンタトニック（5音）が用いられ、意識して「桜」のメロディーを取り入れた曲以外にも、日本的な趣きのあるメロディーが含まれていて、あらためて日本とハンガリーの音楽的な近縁性を感じさせられました。



## 《中央ヨーロッパの知られざるハンガリー》



6月17日(日)14:00~16:00 小牧市公民館視聴覚室で、小牧市国際交流協会主催によるハンガリー理解講座が行われました。この日の講師は当協会理事の山口チーラさんで、「中央ヨーロッパの知られざるハンガリー」と題して、最初に映像を映しながら、歴史、文化、芸術など、とても分かり易く紹介されました。その後、11問のクイズが出され、それを解きながら、とても楽しくハンガリーの歴史的なこと日常のことなど知っていただけ

ようです。ティータイムにはサラミ&パンがふるまわれ、イタリアのサラミとは違う美味しさにとっても満足の様子でした。



### ハンガリーについてのクイズ・・・皆さんは答えられますか？

- ① ハンガリー民族はどこから現在のハンガリーにたどり着きましたか？・・・アジア大陸
- ② 9世紀に7部族のリーダーがひとつになることを決め、これがハンガリー民族の歴史の始まりと考えられています。この条約をどういう形で結びましたか？・・・  
・・・みんな手を切って、血をコップに集めて、みんなで飲みました
- ③ イースターを祝うときに昔人々がやっていたことは？・・・男は女に水をかけた
- ④ ハンガリー人が発明したものは？・・・ボールペン
- ⑤ 温泉でできることは？・・・泳ぐ
- ⑥ ハンガリーで誕生日以外に個人が祝ってもらう日は？・・・名前の日
- ⑦ ハンガリー人がパンと一緒に好んで食べるものは？・・・生ねぎ
- ⑧ ハンガリー人がチップをあげなくてよいところは？・・・旅行会社
- ⑨ クリスマスツリーを飾るのはいつ？・・・クリスマスイブの当日
- ⑩ ハンガリーの学校で日本と違うのは？・・・担任の先生は入学から卒業まで変わらない
- ⑪ ハンガリー国旗の色の順番は？・・・赤白緑

(チーラさんのクイズは4択でしたが今回は紙面の都合上答えだけ記しました)

## 《ハンガリーワイン (19) -Gundel の Bikavér、いわゆる「雄牛の血」-》

伊藤憲昭 (大仲さつき病院医師)

ハンガリーを代表するレストラン「GUNDEL」(1894年創業)の店名入りワインの紹介が続く。過去にハンガリー料理店で好印象だったブランドであり、そのブランドのものを色々と注文してしまったがためである。

Egri Bikavér「エゲルの雄牛の血」は、16世紀のトルコ侵攻によるエゲル城攻防戦の伝説にもとづく。20万(実際は4万といわれる)のトルコ軍が、わずか2000名がこもるエゲル城を6回攻めても落とせない。しまいには、エゲルの陣営が赤ワインを飲みちらして全身真っ赤になっているのを見て、「ハンガリー人は雄牛の血を飲んでいいる！」と恐怖して逃げる始末である。

もちろん伝説である。城攻めには相手の10倍の兵力が必要であるのだが、その点エゲル軍はよく防いだ。トルコ軍の失敗は、攻城に時間をかけすぎた点にある。退却の理由も食糧不足あたりにあるのだろう。16世紀は世界的に冷夏・多雨の傾向にあり(日本では戦国時代に相当して、豊臣秀吉が水攻めを多用している)、ひょっとすると疫病でも流行ったか? 余談であるが、その後も何度も戦闘がおこなわれ1596年にエゲルは陥落する。

エゲル攻防戦の資料がもともと少ないので、すべて想像で語っている。そして、今回のワインも資料が少ないために想像で語らなければならない。13種類(以前しらべたときは11種類だった)のブドウから3種類以上をブレンドすることが規定されているのが、Egri Bikavérである。そのブレンドの比率や内容が分からない。

あえてブレンドの内容を想像するならば、国際的嗜好にかたむくGundelだからMerlot・Cabernet Sauvignonが入り、酒質からはKékfrankos (Blaufränkisch)が配合されているはず。その正答を知るには、東京のハンガリー料理店のソムリエ諸氏をいじめに行かねばならない。

2002 Gundel Egri Bikavér /12.5%vol/ (有) ハンガリーフーズサプライ/2200円

透き通る、くすんだ赤小豆色。端は幅広に赤小豆色。縁は薄くオレンジおびる。足はゆっくりと規則的にやや密に涙。

オガクズ香が強く、その中に、小粒の黒系香や、熟したイチゴ香。ブドウのペクチン質の粘った感の青い香。

やや滑らかな渋味に、やや丸みあるボリューム感。酸は、キュッと小振りな収斂性あり、ヒリヒリと刺激あり、切れは鋭く、最後まで伸びる。タンニンは、熟れて、口当たり抵抗ない。果実味は、赤と黒系ベリーが半々で、何かしら化学的な甘味がベトツと残るが、Kékfrankosの甘味か。酒質は、ヒリヒリするアルコール感に、不自然な甘味が加わり、長く飲むに耐えないものがあり、また統一された熟成感がない。



## 《今後の予定》

### \*2012 年度総会

日時：10月23日（火）18：30～

場所：名鉄グランドホテル

内容：総会

民族舞踊 ラーザール・アティツラさん

大塚奈美さん

なお、この日は1956年の革命と共和国記念日です。



### ラースロ・ベルキとジプシー楽団&ダンサー京都公演

日時：2012年10月14日（日）14：00開演

場所：京都芸術劇場春秋座

ラーザール・アティツラさんがダンサーとして出演

特別割引チケットについては下記をご覧ください。

<https://sites.google.com/site/cifrakalotaszeg/home/shinchaku-jouhou-2/20120711>

### \*ハンガリー展（協力事業・小牧市主催）

日時：11月7日(水)～18日(日) 10：00～17：00

場所：小牧市市民ギャラリー

内容：ハンガリーの子どもたちの絵画、刺繍サークル作品、

大使館よりパネル8枚と民族衣装(男女)

ハンガリーの絵本、ルービックキューブ、塗り絵など

### \*クリスマス会

日時：12月16日(日) 10：00～17：00

場所：名古屋国際センター



白にんじん



パプリカの白い花

連日の猛暑、皆様お変わりございませんか？

梅雨時は大変な降雨で白にんじんとパプリカの苗が弱っていました。

しかし、今は太陽の光をいっぱい浴びてとても元気に育っています。

総会の折には皆様にパプリカをお分けできるよう、たくさん育つとよいのですが・・・。

また、クリスマス会では白にんじんで美味しいグヤーシュを作りましょう!!